

2020年12月7日

一般財団法人 熊本放送文化振興財団 御中

菊池恵楓園絵画クラブ作品展実行委員会

代表 藏座江美



令和2年度下期助成事業実施報告書について

下記のとおり、実施報告書を提出します。

記

- 1、事業実績報告書
- 2、収支決算報告書
- 3、添付書類（展覧会チラシ、会場ガイド、展覧会図録）

以上

事業実績報告書

「ふるさと、天草に帰る 菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品展」

●会期・会場

天草展：2020年10月3日（土）～18日（日） 14日間

天草市民センター 展示ホール

上天草展：10月21日（水）～28日（水） 7日間

松島総合センター「アロマ」展示室

苓北展：10月31日（土）～11月8日（日） 8日間

社会福祉法人慈永会 ふれあいスペース如水館

●展示作品数

天草展：77点 上天草展：47点 苓北展：59点

●入場者数 天草展 1563人

上天草展 677人

苓北展 915人 合計 3155人 (29日間)

*うち、下記の生徒、学生にご来場いただきました。

天草展・・・本渡看護学校1年（30人）、3年（37人）、天草工業高校2年（30人）

上天草展・・・今津小学校5・6年（66人）、教良木小学校全学年（28人）、竜ヶ岳中学校
1年（17人）、姫戸中学3年（14人）

苓北展・・・坂瀬川小学校5年（14人）、6年（14人）、富岡小学校5、6年（21人）、志
岐小学校6年（20人）、天草拓心高校マリン校舎1年（30人）、都呂々小学
校6年（14人）、苓北中学校1年（62人）、2年（64人）、3年（65人）

合計 526人

●関連イベント

天草展・・・「あつい壁」上映会 本渡第一映劇 156人 (10/10～16 6日間)

上天草展・・・次郎岳ウォーク 45人 (10/25)

苓北展・・・「家族の話を聞こう。」 25人 (11/3)

来場者アンケートより

- ▶ 初めて作品を観ましたが、それぞれの作品に込められた思いを感じることができました。「命はつなぐものではなく完結するもの」という文を《老樹木》から感じました。最初はさびしい絵だと思いましたが、この木も生ききったのではないかと、命を感じることができました。
- ▶ 菊池恵楓園の中のことを私たちは何も知りませんでした。たとえ素人芸だとしてもどうしてこれほど達者で素晴らしい作品の数々が生み出されてきたのか、を考えると「描くしかなかった」そのような強い想いを感じ取ることができるほどにじっくり構えた時間と繰り返しの筆致にただ感動するばかりです。
- ▶ ここに飾ってある絵はね…と少し話しをして娘と観にきました。娘たちは絵そのものを楽しんで観ていました。この絵がどういった歴史の中で存在するのかわかるようになる日がくると思います。その時また何かをしっかりと学び感じてほしいと思っています。ネットなどで見た絵より本物の迫力にドキドキしました。“人”“思い”いろいろなことを伝えていただいたと思います。
- ▶ 展覧会に来たのは人生で初めてでした。1つ1つの絵がしっかりしていて、何かを訴えかけているようでどの絵もすごく印象に残って気がついたらずっと見入っていました。ほとんどの作品が私が生まれる前に作られていて、中には自分が行ったことのある場所がモチーフになっている絵もあってすごかったです。また絵を見れる機会があるなら行きたいです。本当に今日はありがとうございました（10代）。
- ▶ 高校生の娘に誘われて来場しました。20年以上前になりますが、恵楓園付属の看護学校に2年間学びました。その頃は金陽会さんの活動のことは知らず、天草出身の方が在園しておられることも知らずに過ごしました。想いの込められた絵画に見入ってしまいました。
- ▶ 天草にはこんなに景色が美しいところがあったことをあらためて知ることができた。油絵で描かれていて迫力があつた。展覧会に来たのは初めてだったので、とても貴重な体験をすることができたのでよかった。また家族を連れてきたいと思った。
- ▶ 《うたせ船》という作品を観て、迫力のある船となめらかな波の線がとてもきれいだと感じました。どの作品からもいろいろな想いが感じられ、胸が「きゅっ」となるものが多かったように感じました。作品すべての想いを受け取ることは難しいですが、作品の存在を知る、観ること自体に意味があつたのではないかと思います。
- ▶ 昨日、映画「あつい壁」を見ました。その上でこのたくさんの作品を観ると故郷を思う切なさや、いろいろな気持ちがせまってきます。私は奄美にも住んだことがあり、天草にも…。大好きな場所に家族と共に暮らす、そんな普通の暮らしができず、一生を終える気持ちはどんなものだったのでしょか…。これからもこの絵画展を続けてほしいです。

(上天草会場)



会場風景

(天草会場)



(苓北会場)



収支報告書

令和2年2月12日～令和2年12月2日

<収入の部>

科目	予算	決算	備考
寄付金	1,400,000	1,496,000	396件(個人・団体)の寄付金
協賛金	1,300,000	1,420,000	91件(団体・個人)の協賛金
補助金	300,000	300,000	天草郡市人権教育推進連絡協議会
助成金	300,000	400,000	熊日文化スポーツ基金、熊本放送文化振興財団
売上金	250,000	269,050	図録・ポストカード等売上金
負担金	150,000	121,103	役員の負担金(寄付金)
新型コロナ対策補助金	300,000	300,000	熊本県文化団体
利息・他		8,002	次郎丸岳ウォーク参加費、預金利息
合計	4,000,000	4,314,155	

<支出の部>

科目	予算	決算	備考
会場・設営費	500,000	537,895	会場使用料(天草市民センター、アロマ)
製作費	60,000	0	看板製作費
出展出品料	50,000	50,000	一般社団法人金陽会へ
謝金	50,000	58,317	講師料、講師宿泊料、食事代
交通費	150,000	79,556	航空料金、新幹線料金、バス料金、タクシー代等
図録等製作費	1,550,000	1,662,650	図録、ポストカード、会場ガイド、デザイン料
送料・運搬費	450,000	445,960	払込料金等、郵送料、絵画輸送料、レンタカー等
広告宣伝費	350,000	329,743	ポスター、チラシ、協力要請・払込用紙、資料等
人件費	140,000	56,507	要員謝礼等
保険料	110,000	112,670	動産総合保険(展示品)、傷害・賠償責任保険
雑費	150,000	211,196	事務・消耗品、コピー、印刷、飲み物等
宿泊費	140,000	186,500	宿泊費
新型コロナ対策経費	300,000	311,820	誘導員人件費、噴霧器・消毒薬等、動画制作委託料
清算経費		10,000	清算経費
寄付		261,341	一般社団法人金陽会へ
合計	4,000,000	4,314,155	

それは刻み込まれた記憶

ふるさと、 天草に帰る

《天草(妙見ヶ浦)》吉山安彦・2006年・油彩、キャンバス・一般社団法人金陽会蔵 / 題字：吉山安彦

2020年 天草展

10月3日(土)～18日(日)

天草市民センター
展示ホール

天草市東町3

10時～17時(最終日は16時)

休館日：10/5、12

上天草展

10月21日(水)～28日(水)

松島総合センター
「アロマ」研修室

上天草市松島町合津 4276-44

10時～17時(最終日は16時)

休館日：10/26

苓北展

10月31日(土)～11月8日(日)

社会福祉法人慈永会
ふれあいスペース如水館

天草郡苓北町上津深江 278-2

10時～17時(最終日は16時)

休館日：11/5

入場無料

主催 「ふるさと、天草に帰るー菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品展」実行委員会

事務局本部：一般社団法人ヒューマンライツふくおか

〒814-0112 福岡市城南区友丘1-7-19 TEL080-2799-0082

e-mail：yoyoso1954@icloud.com

国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会には、900点を超える絵画が残されていますが、全国13カ所の療養所を見てもこれだけの作品が残されているのは奇跡的なことです。長い療養所生活の中で、家族やふるさとを想って描かれた作品は、何度観ても胸に迫ってくるものがあります。

ふるさとを想って描かれた作品を、ぜひそのふるさとでご紹介したい。そんなお節介りはじまりの里帰り展、「ふるさと、奄美に帰る」から2年が経ち、今回「ふるさと、天草に帰る」が開催の運びとなりました。金陽会メンバーそれぞれのふるさとで里帰り展を開催したいという願いが、こんなに早く叶うとは思ってもみませんでした。

金陽会の作品が初展示となる天草、上天草、苓北の3会場で、天草ご出身の中原繁敏さん、吉山安彦さんの作品を中心にをご紹介します。

2019年6月、ハンセン病家族訴訟が勝訴という大変喜ばしい結果を迎えましたが、2001年のハンセン病国賠訴訟の後、なんら変わっていなかった偏見・差別の状況を私たちは真摯に受け止めなければなりません。「差別は絶対になくならない」と語っていた中原さんに、「少し変わったみたいだよ」と報告できる日が来るように、これからも金陽会の作品をご紹介します。

まずは金陽会の皆さんの作品の前に立ち、ゆっくり向き合っ、皆さんの想いを受け取っていただければ幸いです。

「ふるさと、天草に帰る」展 実行委員長 藏座 江美

後援

天草都市医師会、天草都市人権教育推進連絡協議会、天草市、天草市教育委員会、天草市芸術文化協会、天草市社会福祉協議会、天草自然公園ボランティア協会、天草市男女共同参画ネットワークつのでネット〜風〜、天草市民生委員児童委員協議会連合会、天草四郎観光協会、天草人権擁護委員協議会、天草宝島観光協会、天草フォトクラブ、天草文化協会、牛深商工会議所、上天草市、上天草市教育委員会、上天草市社会福祉協議会、熊本県天草広域本部、熊本県看護協会天草支部、熊本県文化協会、熊本日日新聞社、本渡第一映劇、本渡商工会議所、苓北町、苓北町教育委員会、苓北町社会福祉協議会、公益信託 熊日文化スポーツ基金（予定）

協賛

天草エアライン株式会社、天草漁業協同組合牛深総合支所、天草ケーブルネットワーク株式会社、天草信用金庫、天草大王生産直売公元、天草中央ロータリークラブ、天草パールラインロータリークラブ、天草（旧本渡）ロータリークラブ、一般社団法人市民活動サポートあまみん、医療法人啓正会酒井病院、医療法人社団永芳会永芳医院、医療法人誠啓会やました医院、医療法人社団苓仁会酒井外科・内科医院、牛深ロータリークラブ、金子産業株式会社、株式会社クリザス、株式会社 倉岳石油、月圭山芳證寺、金剛山明樂寺、社会福祉法人 慈永会、社会福祉法人青豊会本渡ふたば保育園、曹洞宗熊本県第1宗務所熊本曹洞宗寺院一同、曹洞宗熊本県第2宗務所天草曹洞宗寺院一同、田中電機、西天草ロータリークラブ、ハンセン病に学ぶ会、不老山西福寺、松本歯科医院、ワールドフレンズ天草

協力

一般社団法人金陽会、株式会社コトノネ生活、国立療養所菊池恵楓園入所者自治会、金陽会応援団

(5月20日現在)

*ご後援、ご協賛、ご協力いただいた団体名及び個人名は、展覧会場内パネル・展覧会図録に記載させていただきます。掲載をご希望でない方は、事務局本部(表に記載)までご連絡ください。



《獅子岩》中原繁敏・2006年・油彩、キャンバス・一般社団法人金陽会蔵

●ギャラリートーク(各会場にて)

本展覧会を企画し、菊池恵楓園絵画クラブの調査・保存活動を続けている藏座 江美によるギャラリートークを開催します。

関連イベント

●映画上映 本渡第一映劇

10月10日(土)～16日(金)

●次郎丸獄ウォーク(中原繁敏さんが描いている次郎丸獄に登ります)

10月25日(日)

各種イベントを予定しています。詳細は一般社団法人ヒューマンライツふくおかHP <http://human-rights-fk.com/> でご確認ください。

展覧会開催ならびに絵画保存活動のためのご寄付をお願いしております。
ご協力いただければ幸いです。

イチナナキユウ
ゆうちょ銀行 一七九店(店番 179)
当座 0171941
菊池恵楓園絵画クラブ作品展実行委員会

天草信用金庫 本店(店番 001)
普通 1256789
菊池恵楓園絵画クラブ作品展実行委員会 事務局長 桂木誠志

「ふるさと、天草に帰る」展 会場ガイド

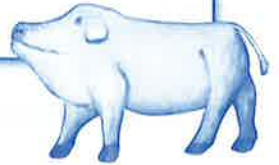
きくち けいふう えん きんようかい
菊池恵楓園 絵画クラブ 金陽会の里帰り展にようこそ!

天草では初めての展示となる金陽会の作品を楽しんでいってくださいね。

Q1 「金陽会」ってなあに?



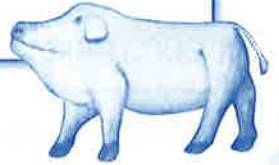
きくち けいふう えん
国立療養所菊池恵楓園に1953(昭和28)年に発足した絵画クラブです。
10名の方の900点を超える作品が残されています。



Q2 「里帰り展」ってなあに?



金陽会の作品の中には遠く離れたふるさとや家族のことを想って描かれた作品も含まれています。ふるさとに帰ることなく園内で亡くなられたメンバーに代わって絵だけでも里帰りしてもらいたいと思い、2018年にあまみ おおしま 奄美大島で初めての里帰り展を開催しました。今回の展覧会はその第二弾となります。

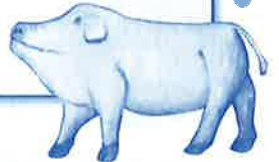


Q3 どうして帰れなかったの?



ハンセン病は、感染力が弱かったにもかかわらず感染する怖い病気と思われていました。ハンセン病になった人は「らい予防法」*という法律で強制的に療養所に隔離され、ふるさとへ帰ることができなかったのです。

*らい…ハンセン病の昔の名前



家族の証言

かくり
隔離政策は、多くの患者や家族を苦しめました。私は、祖父がハンセン病患者だったので、そのことをよく知っています。家族にハンセン病患者がいることで、学校でいじめられたり、恋人と別れることになったり、就職試験に合格したのに不採用になったり、人間が「幸せに生きる権利」が奪われてきました。残念なことに今も偏見、差別は続いています。けれど「差別は決して許されることではない」と闘っている人たちもいます。人間が作り出した偏見、差別は人間が無くしていくことができると思います。



会場内には、ふるさとや家族を描いた作品のほかにも金陽会の皆さんのいろんな作品が展示されています。
お気に入りの作品をぜひ見つけてくださいね。

手作りの額に入れられた作品もあります。



奄美の豚さん

ハンセン病問題とは…



ハンセン病は「らい菌」という細菌による感染症の一種ですが感染力はとても弱く、現在では治る病気です。治療法が確立してからも国の法律によって隔離が長く続いたことで偏見、差別が広まり、今なおその被害が続いていることです。



ハンセン病に関する主な出来事

1953(昭和28)年	「 <small>らい</small> 癩予防法」を改正し「らい予防法」が制定され、 <small>むらいげん</small> 無癩県運動*1がさらに激しくなる
	熊本県で <small>くろしげ</small> 黒髪校事件*2がおきる(龍田寮事件)
1996(平成 8)年	「らい予防法の廃止に関する法律」ができる
2001(平成13)年	法律に誤りがあったと認められる(ハンセン病国賠訴訟勝利判決) <small>こくばい そしょう</small>
2003(平成15)年	熊本県で <small>けいふうえん</small> 患楓園入所者に対するホテル宿泊拒否事件が起こる
2016(平成28)年	家族も差別を受けたと裁判所に訴える(ハンセン病家族訴訟提訴) <small>そしょうていそ</small>
2019(令和元年)	家族の被害が認められる(ハンセン病家族訴訟勝訴判決) <small>そしょうしょうそ</small>

むらいげん無癩県運動*1

各県が競争してハンセン病患者を見つけ出し、療養所に送り込んで成績を競いました。

黒髪校事件*2

親がハンセン病になり隔離されたため生活できなくなった子どもたちは、療養所付属の保育所「龍田寮」に預けられました。龍田寮で生活していた子どもたちが地元の小学校(黒髪小学校)に通学しようとした時に、自分の子どもたちにハンセン病がうつるのではないかと不安になった親たちは、自分たちの子どもを休ませたり、校門の前で通学して来た子どもたちを帰宅させたりしました。龍田寮の子どもたちをなんとか通学できないかとさまざまな調停案が提案されましたが解決できず、龍田寮は廃止され、子どもたちは養護施設や親戚に引き取られ離ればなれになりました。ハンセン病は感染する怖い病気であるという刷り込みによって子どもたちは排除されたのです。



貼り紙を見る黒髪小学校の子どもたち



ふるさと、
天草に帰る

国立療養所 菊池恵楓園 金陽会 作品展



